

従業員への権限移譲を進め、事業復旧と意思決定のスピードを早める組織づくり



株式会社ウチダ

業種	所在地	代表者名
金属製品製造業	南アルプス市	内田 和章
設立年月	従業員数	
平成9年10月	24人(令和5年10月時点)	
ホームページ		
https://bizuss.com/		

1 会社・事業の概要

組立製造／検査受託／業務請負／ろう付け加工（ろう付け技術で特許出願）

2 計画策定のきっかけ

当社の事業がサプライチェーン上重要な役割を担っていることや、従業員24名の生活が掛かっていることを鑑み、不測の事態への対応を事前に想定することで円滑な事業復旧に結び付けたいと考え申請に至った。

- ①自然災害発生時において、人命を最優先として、社員と社員の家族の安全と生活を守る。
- ②地域社会の安全に貢献する。
- ③部品の供給の継続、又は早期の再開により、お客様への影響を極力少なくする。

3 計画策定の取組について

- ・地震・水害・感染症・サイバー攻撃の4つの観点から起こり得る事態を想定し、その対策を講じている。
- ・不測の事態への対応策として、従業員への権限移譲を進めている。
- ・代表者に業務が集中していたが、新たに工場長、マネージャー、リーダーの社内ポストを設け、従業員への権限移譲を進めることで、業務の分散化をすることができた。

4 計画に基づく実施状況

- ・人命及び安全確保、非常時の緊急体制の構築、被害状況の把握・被害情報の共有について、初動対応と事前対応を定めた。
- ・本計画策定を契機に、備蓄品として水100L、トイレトペーパー2カ月分、マスク50箱を用意し、緊急時への対応を強化した
- ・輸送リスクや保管リスクを想定して、業務上災害保険・PL保険などを見直し、万が一の事態への対応を強化した。

5 計画策定の効果

権限移譲を進めることで、現場責任者としての自覚が芽生え、社内の意思決定のスピードが向上した。

本計画を契機としてUTM(Unified Threat Management)を導入し、ネットワーク管理を統合することで、社内の情報セキュリティが向上した。

本計画策定後に、事業の地域と共生した持続的な発展を目的として、経営力向上計画と親和性の高いSDGsに向けた取組みを強化。令和6年4月「やまなしSDGs推進企業」に登録、令和6年1月「SDGs行動宣言」を実施。

従業員の雇用を守り事業継続することを優先して、運転資金余力の確保に向けて金融機関と良好な関係性を構築している。



UTM (Unified Threat Management)

6 今後の取り組み

新興国への製造拠点の転出の流れに備え、デジタル分野の活用など事業多角化を見据えた事業展開を進めたい。また経理や人事などの管理部門領域は代表者1名が担当しているが、コア業務とノンコア業務と振り分けた上で、社内や外部人材の活用を進めたい。

7 計画を策定した感想

本計画の策定は従業員への権限移譲を進める良いきっかけとなった。

8 計画策定を検討されている事業者に対してのアドバイス、メッセージ

事業継続力強化計画の策定は不測の事態への対応がスムーズになることに加え、重要業務を複数人が担う体制を構築することで、生産性向上にも繋がる取り組みであるため、積極的に策定して欲しい。

9 策定支援機関から一言

事業継続力強化計画の策定をきっかけとして、従業員への権限移譲や情報セキュリティの向上など社内に向けた取組みと、支援機関や金融機関などの外部との連携強化に取り組んでおり、経営課題の解決と事業継続への対策に向けて進んでいる。

(南アルプス商工会 経営支援課 谷口)

